

事後評価書

事業名	水源森林総合整備事業		事業区分	治山事業	室名	森林保全室
事業概要	工期 (下段当初)	平成4年～平成11年	全体事業費 (下段当初)	830百万円(負担率:国50:県50:他)		
		平成4年～平成11年		852百万円(負担率:国50:県50:他)		
事業目的及び内容	<p>(1)所在地 三重県の中部山間地帯の伊勢湾に注ぐ雲出川水系の最上流部水源地帯に位置し、美里村の西端部の伊勢平野と伊賀盆地の分水嶺を形成する笠取山を中心とする青山高原山系の東側山地に位置します。</p> <p>(2)事業の目的 当地区は、水資源の確保上重要な中野簡易水道の水源地の荒廃森林等を対象として、荒廃地等の復旧整備とあわせて周辺森林の整備等を総合的に実施し、水源かん養機能の回復・向上を図るとともに、県土の保全を図ることとします。</p> <p>(3)全体計画及び実績内容 再評価時(平成10年度) 事業期間：平成4年度～11年度 全体事業計画量：溪間工15基 山腹工1.66ha 森林整備 54.4ha 全体計画事業費：852,074千円 実績 事業期間：平成4年度～11年度 全体事業量：溪間工15基 山腹工1.27ha 森林整備 54.4ha 全体事業費：830,308千円</p> <p>(4)法令等の指定 森林面積303haのうち、295haが水源かん養及び保健保安林に指定されており保安林率は97.4%となっています。 また、当該事業区域の西端部の一部が室生・赤目青山国定公園の普通地域及び第3種特別地域に指定されています。</p>					
1・事業の効果	<p>(1)費用対効果分析 林野公共事業の費用対効果分析は平成12年度から導入されているため、事業採択当時及び前回再評価時は費用対効果分析を行っていません。 現在の便益に換算して、算出した費用対効果B/Cは、1.50です。 便益(B) = 1,863,591千円 費用(C) = 1,245,245千円 B/C = 1.50</p> <p>(2)人家・農地、道路等の被害軽減効果 桂畑川の河川氾濫による人家や農地への被害はありません。 また、保全対象である林道瀬戸線については、林道を横断する溪流上部からの土砂流出による排水管の閉塞などの多数の被害を受けていましたが、事業完了後は被害が無くなりました。</p> <p>(3)コスト縮減 平成11年度の山腹崩壊地復旧工法の選択に当たり、アンカー工を主とする抑止工法を検討しましたが、調査結果等から、排土工や押さえ盛土工による抑制工を採用したことにより、約2千万円の縮減を図ることができました。</p>					

2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化

(1) 木製品の利用

治山ダム工の袖部や山腹工の法面に、間伐材を積極的に利用した木筋工や木柵工、ウッドブロックを施工し、将来、在来種の植生の侵入を期待するとともに材料が腐朽し、土壌に還元されるよう環境保全に努めています。

(2) 法面緑化

緑化が可能な箇所については、早期緑化が図れるよう努めるとともに、岩盤部の緑化が困難なところにあっても、通常のもルタル吹付工に比べて周辺植生の導入による緑化が期待できる特殊もルタル吹付工を積極的に採用し、景観配慮に努めています。

(3) その他

平成15年度から、掘削機械については排出ガス対策型を使用しています。

3・事業を巡る社会経済情勢等の変化

(1) 関連集落の変化

美里村全体の人口は、事業開始の平成4年度時に比べ約7%減少しており、桂畑地区はそれを上回る約17%の減少となっています。

(2) 保全対象

土石流による被害が想定される保全対象は、人家18戸、農地5ha、村道1,200m、林道瀬戸線4,600mで現在も変化はありません。

(3) 利水施設及び給水戸数等の変化

中野簡易水道は、平成12年度まで桂畑と中野地区に給水を行ってきましたが、近年の生活様式の変化により水需要の安定供給を図るべく、高宮簡易水道(三郷・五百野・南長野・足坂地区に給水)と統合し、中野高宮簡易水道施設として平成13年度から給水を開始しています。

<事業着手時>	中野簡易水道	<現在>	中野高宮簡易水道
給水区域	中野、桂畑地区		中野、桂畑、三郷、五百野、南長野・足坂地区
給水戸数	162戸		508戸
給水人口	563人		1,616人
日最大給水量	272m ³ /日		710m ³ /日

(4) 事業区域周辺の関連公共施設の変化

事業区域を流れる桂畑川は、桂畑生活貯水池事業としてのダム建設に向け平成5年度から調査を実施していましたが、経済不況、利水計画等の変更により、美里村が平成11年度末に事業計画を取りやめました。

<桂畑生活貯水池建設事業の概要>

事業目的：洪水調整、流水の正常な機能の維持、水道用水供給

事業期間：平成5年度～20年代

計画内容：ダム高50.5m、堤頂長105m、総貯水容量85万m³

事業費：8,008百万円

(5) 社会情勢

河芸町、芸濃町、安濃町、美里村、津市、久居市、香良洲町、白山町、一志町、美杉村の10市町村は、広域合併により、平成18年1月1日から津市になる予定です。

4・県民の意見

(1) アンケート調査による地域住民の満足度、意見

事業区域下流に存する桂畑、中野、南長野地区の3集落を対象に、森林の役割、事業の認識度、事業効果、事業の満足度や提案、意見を把握するため、アンケート調査を行いました。

アンケート実施期間：平成17年9月1日～9月26日

アンケート調査の回収率：88%

地区名	配布戸数	回答数	回収率
桂畑	34	26	76%
南長野	72	60	83%
中野	126	119	94%
計	232	205	88%

今回、桂畑で実施した、事業の認識度は58%（桂畑地区：89%）、事業効果は96%、満足度は56%（桂畑地区：78%）となり、桂畑地区の方から、高く評価され事業への理解がなされたと判断します。

5・今後の課題等

今回実施しました森林整備（複層林造成）について、獣害や気象害が原因で、一部、植栽木の成長が阻害され補植する結果となりました。また、近年、全国的にニホンジカによる食害被害が深刻化していることから、ニホンジカと森林保全との共存をどのように図っていくかが重要な課題となっています。今後も、森林の状況を的確に把握しながら、適正な保育管理を行っていきます。

一方、本県の厳しい財政状況により、年々治山事業の予算が減少する中、自然環境に配慮しつつ、更にコスト縮減を図り、効率的・効果的な実施が必要となります。

今後の治山事業を実施していく上で、アンケート結果からの回答を反映した事業展開ができるように努めます

平成10年度再評価意見書

「森林の水源機能をより一層充実させる方向で、森林の保育に重きをおくように考慮して事業の推進を図ること。」